



新たな可能性への、

確かな鼓動。

明日の農業を築きたい。

長沼の明日を支え、育てるもの。それは、たくましい力と、柔らかな感性を持ち合わせた、21世紀の産業づくりです。
青空のもと、大地の上で、長沼の未来を耕す人たちが、
今日も笑顔を変わしています。

池田浩春さん

これからは個人だけでなく、経営レベルや採算性を考えながら、地域全体で農業を維持していくやり方に取り組むべき。時代に順応して、柔軟性をもってやっていきたいですね。

横川京子さん

21世紀に生き残れる農業を。それはたとえば、安全なお米だったりします。名指して「横川さんちのお米を食べたい」— そう言ってもらえるような信頼関係を創り出していきたい。

栗野一栄さん

農業は、自分一人では何もできないんです。これまで得た仲間のネットワークは何よりの財産。そんな多くの力を借りながら、楽しく魅力ある明日の農業にしてゆきたい。